



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会

海外特別研究員の就職状況等に関する追跡調査結果について

(平成30年度実施)

海外特別研究員の 「常勤研究職」への就職状況

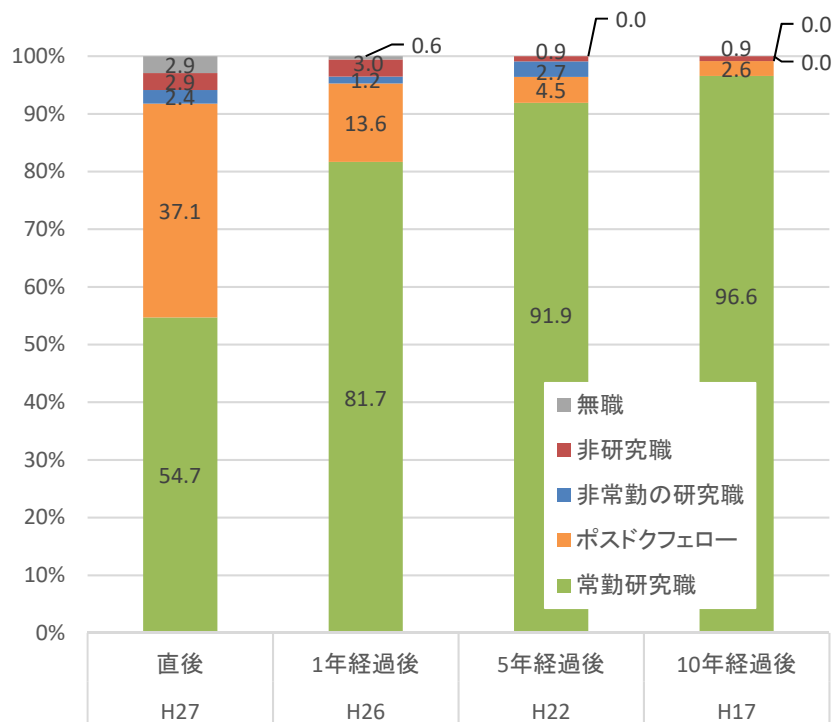
直後
(平成27年度採用者) : 54.7%

1年経過後
(平成26年度採用者) : 81.7%

5年経過後
(平成22年度採用者) : 91.9%

10年経過後
(平成17年度採用者) : 96.6%

※割合は、不明者等を除いて算出



《調査結果より》

海外特別研究員は、5年経過後調査では91.9%、10年経過後も96.6%が「常勤の研究職」に就いており、我が国の研究者の養成・確保において重要な役割を果たしている。

海外特別研究員事業とは

我が国における学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保するため、優れた若手研究者が海外の特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する事業です。

＜申請者・採用者数及び採用率の推移（平成21～31年度）＞

